



ナイスステップな研究者2019

□ 文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、科学技術イノベーションの様々な分野において活躍され、日本に元気を与えてくれる30～40代の若手研究者（平均年齢37歳）を中心に、令和元年12月6日に「ナイスステップな研究者」として選定しました。2005年から実施しており、今回で15回目。

□ 衛星データの農業への利用や宇宙と医学、AIとライフサイエンスの融合といった分野横断的な研究、新材料や新薬の開発に繋がる基礎的な研究、大学発ベンチャーの創業といった多岐にわたる分野において、研究活動のみならず様々な形で国内外へ広く成果を還元されている方を選定しています。

(年齢・所属は令和元年12月6日時点)

宇井吉美 (31)

株式会社aba 代表取締役



介護者負担の軽減を目指しAIによる予測を用いた「排泄」ケアの開発

坂本利弘 (42)

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 上級研究員



衛星リモートセンシングによる作物フェノロジー観測技術の確立と農業環境の広域モニタリングや米国産トウモロコシの作況予測への応用

上田純平 (35)

京都大学大学院 人間・環境学研究科 関連研究学専攻 助教



蛍光体の消光プロセスの解明と新規蓄光材料の開発

佐藤太裕 (45)

北海道大学 工学研究院 機械宇宙工学部門 機械フロンティア工学分野 教授



竹が「軽さ」と「丈夫さ」を併せもつ理由の構造・材料力学的解明

太田禎生 (35)

東京大学 先端科学技術研究センター 准教授



アカデミアや組織の枠を飛び越え、世界初のAI駆動型の高速細胞形態ソーターの実現

篠島亜里 (39)

慶應義塾大学 医学部 眼科学教室 特任講師



国際共同研究と分野横断型研究による宇宙医学の推進
－宇宙飛行士の眼病の原因に迫る－

加藤英明 (33)

東京大学大学院 総合文化研究科 先進科学研究機構 准教授



創薬標的として重要な膜タンパク質を視る・識る・創る研究の国内外への展開及び有用なツールの開発

楊井伸浩 (35)

九州大学 大学院工学院 応用化学部門 准教授
国立研究開発法人 科学技術振興機構 さきがけ研究者



光励起三重項の機能化学：
フォトン・アップコンバージョンと超核偏極を可能にする材料の開発

川上英良 (37)

千葉大学大学院 医学研究院 人工知能(AI)医学 教授
千葉大学 治療学人工知能(AI)研究センター センター長
理化学研究所 医科学イノベーションハブ 推進プログラム
健康医療データ数理推論チーム チームリーダー



数理科学と医学の融合による
プレジジョン・メディシンに向けた
疾患予測モデルの開発

Stephen Lyth (39)

九州大学大学院 統合新領域学府
オートモーティブサイエンス専攻 准教授



グリーンテクノロジーの低価格化へ
向けた白金を含まない水素燃料電池
の開発